長沼町総合振興計画審議会　産業部会（第２回）議事概要

開催日時：平成２３年１月１３日（木）13:30～14:20

開催場所：長沼町役場　第７会議室

【出席者】

＜審議会委員＞４名

西島部会長、池内委員、小林委員、鈴木（諭）委員

＜長沼町役場総務政策課＞

高井企画官、長井補佐

【会議録】

１　開会

高井企画官

お忙しい中、また悪天候の中お集まりいただきありがとうございます。計画の案につきまして、引き続きよろしくご審議をお願いいたします。【配付資料について説明】

２　議事（西島部会長が議長となり進行）

西島部会長

まずは第５章「産業の振興」について、１節ずつ見ていきたいと思います。第１節「農業の振興」について、前回は主に４点の意見がありました。

小林委員

この意見を具体的に計画に反映しようとすると、すでに計画に含まれている部分もある。ただ、後継者の育成については、現況と課題については触れているが主な対策のところでは触れていない。新規就農者支援については記載があるが、後継者対策についても育成に力をいれていくということで、文言を入れてほしいところ。具体的に「貸付について支援します」などと書くのは現時点では難しいと思うので、そこまで具体的な記載まではいらないが。

西島部会長

第２節「鉱工業の振興」について。

池内委員

前回いろいろと議論したが、ここからさらに踏み込んで考えていくというのは、現時点では難しいのではないか。計画も、これ以上具体化して書くことは難しいと思われる。

西島部会長

第３節「商業の振興」について。前回は道の駅を活用した販売や夕やけ市、直売所などの話があったところ。道の駅については指定管理者制度になってどう連携できるか、これから期待できるところであると思う。

鈴木（諭）委員

指定管理者制度は何でも自由にできるわけではなく、制限がある中での販売活動となる。

小林委員

計画は進めていく施策の方向性を記載しているが、それを細かに、具体的に記載してしまうとそれを行わなければならない。また、各地区で特産品をつくるといってもすぐできるものではない。長沼の農家は一戸一法人的な考えの方が多い。これ以上踏み込んで記載するのは難しいのではないか。

西島部会長

第４節「観光・レクリエーションの振興」について。

小林委員

前回、米の館を観光施設の中に取り入れてみてはという話があったが、それは難しい。事前に連絡いただければ施設見学に対応するが、アポ無しで来て、事故があったら大変である。

長沼町に米の館ができたときはまだ珍しい施設であったが、今では米どころのどの町・ＪＡも、米の貯蔵乾燥施設を持っている。

西島部会長

町で行う施設見学会等で活用できるのではないか。また、米の館の施設は目立つので、「あの施設はなんだろう」と思う人も多いだろうから、「見学される際は事前連絡を」などの注意書きをつけ、観光マップに載せることも考えられる。

米の館は観光施設ではないが、今後できる施設を含め、観光施設などのＰＲを推進していただきたい。

西島部会長

第５節「雇用の確保・安定」について。

鈴木（諭）委員

ここも、これ以上具体的にするのは難しいのではないか。空港や札幌に近いという立地条件を活かして、企業等の誘致を考えていくということになるのでは。

西島部会長

その他、全体を通して。前回は高校教育と、子どもの放課後について意見があったところですが。

高井企画官

放課後の件については、第４章第５節「児童福祉・子育て支援の充実」のところでうたっており、この中で推進していくこととしたい。高校教育については、教育部会においても高校の存続について危機感が強く、主な施策にボリュームを持たせたいという意見があり対応していきたいと考えている。

その他も、「前回の意見を踏まえてここを修正しました」という資料を作りたかったのだが、すでに計画に位置づけられておりそこで推進していきたいことや、内容が大変具体的で計画に盛り込むのが困難なものなどもあったため、今回の部会を含めて一括で修正の対応をしたいと考えていたところ。第１節の後継者対策や、第４節の施設のＰＲについては、計画に位置づけたいと思う。

西島部会長

前回の総括的な内容ということで、イラストなどを入れてわかりやすい内容にということがあったので、対応をお願いしたい。その他、何かありますでしょうか。

（なしの声）

以上で、産業部会を閉じたいと思います。ありがとうございました。